

旬のさつまいもでスペシャルおやつ(*^^*)

11月16日(水)高槻ともしび苑では秋を感じるおやつを楽しんでいただきました☆
今が食べ頃のさつまいもで作ったスイートポテトを食べていただくと共に、職員が目の前で
たっぷりホイップクリームをデコレーション♡
楽しい演出に入居者様も笑顔になっておられました♪
職員も、甘味処の雰囲気味わっていただけるように作務衣を着用し、いつもと違ったおやつ
の時間となりました！



スイートポテト☆
寒くなってくると、
より美味しく感じられます(^^)



さつまいもにまんべんなくクリームを付けて、贅沢に
いただきます!(*^_^*)



グル〜とたっぷりホイップクリームをデコレーション!
思わず笑顔が溢れます☆ 美味しい柚子茶と共に♪



皆さま職員が順番に来るのを楽しみに
待ってくださっていました(#^^#)
お待たせした分、たっぷりサービス
させていただきました(^^)



職員インタビューコーナー

保育士になろうと思ったきっかけ

私自身が年中、年長児の時の担任の先生が好きで、漠然と「こんな先生になりたいな」と思ったことがきっかけです。
私は一人っ子で、幼いきょうだいと遊ぶということもなかったので、子どもが好きだから保育士を志したというよりは、当時の担任の先生に憧れてこの道に入りました。
今その先生は引退されましたが、時々連絡を取らせていただいていますし、幼い頃の先生への憧れから、私が実際に保育士になったことを「嬉しい」とおっしゃっておられ、今でもとても喜んでくださっています(*^_^*)



ともしび保育園 保育士 村上真央さん

目指す人物像

もう退職されたのですが、私が入社1年目の時に一緒に担任を受けもった先輩が印象に残っています。当時は0歳児の担任で、子どもと言葉を使ったコミュニケーションはなかったのですが、楽しい雰囲気を作ってくださり、積極的に職員にも声を掛けておられました。
また、4月から就任された千松園長は、私が保育士になるきっかけとなった先生に重なる部分が多く、職員への気配りや積極的なコミュニケーションなど「似ているな」、と思っています(^-^)

実際に保育の仕事に就いて

大変なことも多いですが、子ども達が「先生大好き♡」と言ってくれたり、保護者の方が「おうちで村上先生のことをこんな風に話していますよ」と聞くと、励みになりますし、「村上先生来年も居てね」と言っていたこともあって、すごく嬉しかったです(^-^)
エピソード1つ1つは小さなことでも、積み重なって「がんばろう!」という気持ちにさせてもらっており、保育士を続ける原動力になっています☆

保育で感じる難しさ

難しさを感じた点はコミュニケーションの取り方で、伝えたいことがお互いうまく伝わらずぶつかり合ってしまう、というところです。経験を重ねるごとに徐々にコミュニケーション方法はわかってはきたものの、子どもであっても人間同士の関わりの場である以上、日々学びです。
初めての担任が0歳児で、その次が5歳児の担任になったのですが、赤ちゃんから急にお喋りによるコミュニケーションに向き合った時は、しばらくギャップを感じました。でも、何よりもおもしろさが勝り、5歳児との関わりを楽しむことができました(#^^#)

休日の過ごし方、ストレス対処

写真が好きなので、一眼レフカメラを持ってお出かけして友人と一緒に撮影をして楽しんでいます。音楽も好きで、感染対策をしつつライブハウスに行くことは勿論、ライブイベントを自分で作ることもあります(^-^)
ストレス対処としては、「疲れたな…」と思う時は実家に帰って母や祖母の作る美味しいご飯を沢山食べて満足し、充電します!

未来の自分

何らかの形でずっと保育士をやっているだろうな、と思えるほど、保育士の仕事が好きですし、天職だと思っています(*^_^*)
リーダー職といった役職者には向いていないと思っているので、私は積極的に案を出し、自分にできることで役職者と一緒に職場作りをしていきたいと思っています。